



みかん



家にあるとついつい食べ過ぎて、手がみかん色になっちゃうほどおいしいみかん。

しかし、食べるだけでなくその前の皮むきから楽しもうと考え、とうとう本まで出した人がいます。それが、

『あたらしいみかんのむきかた全 25 種』(小学館)。

カッターなどの道具まで使い、馬やカマキリなどをむき出す方法がのっています。うまくできたら拍手喝采。

そうして楽しんだあとの皮、捨てるのはちょっと待った!

干したみかんの皮は漢方薬の“陳皮”といって、胃腸のはたらきを良くしたり、風邪の予防・治療に効果があるのです。

皮ふ吸収もできるので、干した皮をお風呂にいれれば、即席風邪予防風呂のできあがり!(参考:『四季の漢方薬』西日本新聞社)

食べて、遊んで、湯につかり、

みかんをまるごと味わいつくそう☆



イエローラベルって、なあに?
図書館のたみスペース横のコーナーに行ったことはありますか? そこには、中学生以上、大人未満の方々にオススメしたい本が並べてあります。本の背表紙のラベルは“黄色”。ややサブカルチャー的、でも実は人生で役に立つ本もちらほらあったりして・・・。
ぜひ手にとってみてね★

■■■ 編集後記 ■■■

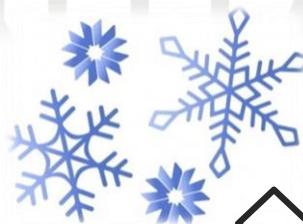
“火の用心～
マッチ一本火事のもと～”

空気が乾燥し火の始末に注意が必要な季節です。残念なことに鹿島市は、1万世帯あたりの建物火災出火件数が全国 814 市区内で第5位。隣の嬉野市の809位と比べると断然火事のおこりやすい市という印象。火の元には気を付けましょうね。(参考:『都市データパック』)

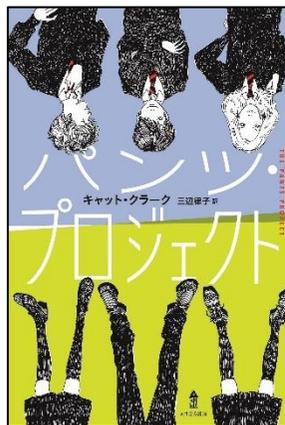
YELLOW LABEL

イエローラベル通信
winter

鹿島市民図書館 2017.12.15発行 vol.67



◇新着本◇



『パンツ・プロジェクト』

キャット・クラーク: 著

三辺律子: 訳 あすなろ書房

リヴは中学1年生。外見は女の子でも、自分は男の子だと思っている。違和感を探るうちに「トランスジェンダー」という言葉に行き当たったリヴは、「女子はスカートをはく」という校則と闘うことに…。さわやかな青春小説。



『宗教ってなんだろう?』

島蘭進: 著 平凡社

なぜ宗教はあるの? 宗教はほんとうに人を救うの? なければよく生きられない? これから宗教はどうなる? 質問形式で宗教を根っこから知り、今の視点で考える入門書。



編集・発行: 鹿島市民図書館 TEL0954-63-4343

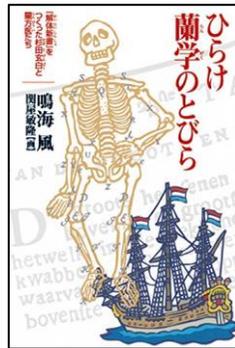
図書館 HP <http://www.library.city.kashima.saga.jp/>

◇新着本◇



『私、日本に住んでいます』
 スペンドリニ・カクチ：著 岩波書店
 外国から来て、いま日本に住んでいる人たちは、日本でどのように暮らし、何を感じているのか？ 留学生、DJ、落語家、お笑い芸人、写真家など、外国から来たさまざまな人の声を紹介する。多様な文化的背景をもつ人々の声を通して多文化共生のありかたを考えます。

『ひらけ蘭学のとびら』
 鳴海風：著 関屋敏隆：画 岩崎書店
 江戸時代、罪人の死体を観察し、内臓のつくりがオランダの解剖書にある絵にそっくりだと気づいた医者たち。彼らが困難を乗り越えて翻訳した本を、医者たちのひとり、杉田玄白は「解体新書」と名づけ…。



『生きて、もっと歌いたい』
 芳垣文子：著 朝日新聞出版
 「浅草花やしき」のアイドルだった木村唯さん。中学3年の時にがんを発症。がんの影響で右足を失いながらも、ステージに立ち続け、18歳2カ月で亡くなるまでの軌跡を描く。

ヤングコーナーに新着本は毎週届いています。
 こちらに紹介している本以外もあるので、
 のぞいてみてくださいネ！



紹介本の情報の全部もしくは一部の複製（コピー）を禁止します。
 本の表紙掲載は、出版社の許諾を得ています。

年末年始の 休館のお知らせ



日	月	火	水	木	金	土
2017年 12/24	25	26	27	28	29	30
31	2018年 1/1	2	3	4	5	6

■ は休刊日です。

【館内整理日】 12月28日

【年末年始休館日】 12月29日～

1月4日 13時

※1月4日は13時～19時までの開館です

★本の返却

本のポスト(エイブル正面玄関右手)に入れてください。

★CD・ビデオ・DVD・雑誌・紙芝居・大型絵本の返却

1/4(水)以降に返却カウンターに返してください。

壊れる恐れがあるため本のポストには入れないでください。

★予約確保の連絡は1/4(水)以降となります

来年もどうぞよろしくお願ひします。

